

1. 構想の導入部

1. はじめに(背景)

- 少子高齢化の進行やライフスタイル・価値観の多様化に伴う課題改善に取り組む
- 第3次基本構想・基本計画(以下「総合計画」という。)(「エリア(圏域)における取組の推進(学校を核としたまちづくり)」の策定経緯
- 地域住民や関係者が協力し、西原樹林を保護してきた歴史的経緯
- 歩いていける距離や市内全体の公共施設の配置バランス等を考慮した、中学校を中心とした半径1,200m程度の範囲を「中学校区」としてまちづくりを推進
- 中学校が地域の多様な世代や属性の人が集い、交流・活動できる施設となるよう、学校教育の環境を維持しつつ、複合化・多機能化を視野に施設更新を推進
- 総合計画を始め、公共施設等総合管理計画及び公共施設再編計画(以下「総合管理計画等」という。)、都市計画マスタープラン及び教育計画等に基づき、分野横断的に連携しつつ、学校を核としたまちづくりを目指す。

2. 構想の趣旨

- 「学校が地域のキーステーション」であるとの認識のもと、将来にわたり地域の核となる中学校を中心として、既存の行政サービスを活かし補完しつつ、既存コミュニティやネットワークとも連携、協力することで、子ども・若者をはじめ、さまざまな住民とともに、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくり」の仕組みを構築するため「田無第三中学校周辺エリア構想」を策定する。

3. 構想の位置付け

- 田無第三中学校周辺エリア構想は、少子高齢化や地域課題の多様化・複雑化を背景に、地域住民や団体と連携しながら、田無第三中学校通学区域(以下「本区域」という。)(のまちづくりの方向性を示す構想
- 老朽化が進む学校施設の更新を契機に、教育環境の維持とともに施設の複合化・多機能化を図り、地域の居場所や社会参加の機会を創出
- 本構想は、総合計画に掲げられた「学校が地域のキーステーション」としての役割を具体化するものであり、総合管理計画等、教育計画等、都市計画マスタープランに示された各分野の方針と整合を図りながら、これら上位計画の中で地域単位のまちづくりを推進する施策として位置づけられる。

総合計画

西東京市
第3次基本構想・基本計画

総合管理計画等

- 施設の複合化・再編整備の方針を示す、公共資産の最適活用の指針

教育計画等

- 学校を地域の拠点とする、学びと地域連携の推進基盤

都市計画マスタープラン

- 土地利用や都市機能配置の方向性を示す、空間的なまちづくりの骨格

4. 通学区域の現況

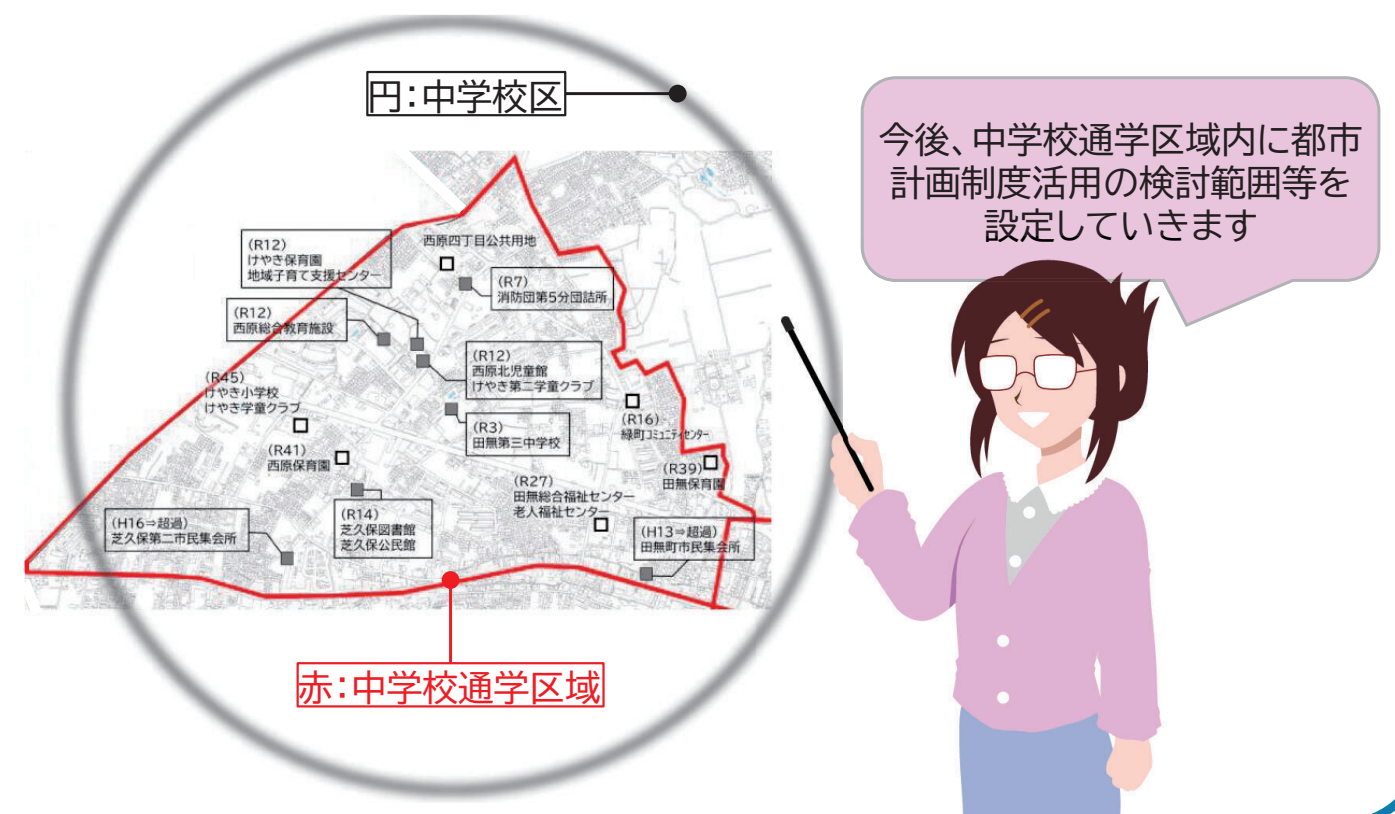
- 本区域は西東京市西部の西原町・芝久保町・田無町・緑町に位置し、面積は、約156.8ha
- 最寄り駅は西武新宿線田無駅であるが、徒歩圏はほぼ田無町五丁目のみ
- 広域幹線道路である新青梅街道が中央を東西に通じ、本区域を南北に分ける沿道ゾーン
- 新所沢街道が整備された北側北部は、低層住宅地と農地のあるゾーン
- 北側西部は住宅団地、教育施設、公園がある文教ゾーン
- 北側東部は多くの農地があり、低層住宅地と共存するゾーン
- 南側は一部倉庫・工場も存在する低層住宅地が中心のゾーン
- 南側東部は田無駅徒歩圏で、マンション・商業施設が立地するゾーン
- 区域内の緑町はすでに地区計画が策定されているゾーン

なお、建替え位置が決定次第、現況調査結果等を踏まえ、
拠点整備区域を設定



5. 分野別の検討範囲

- 歩いていける距離や市内全体の公共施設の配置バランス等を考慮し、行政サービス機能(ソフト)の視点については「中学校区」を基本
- 市民の居場所や活動・交流の場といった地域レベルで必要なサービス提供量の整理については、公共施設の適正配置(ハード)の視点による「中学校通学区域」を基本
- 学校施設周辺のまちづくりを検討する観点から、都市計画における一団地の住宅施設を含んだ一定の範囲を都市計画制度活用を検討範囲に設定
- 学校の建替えについては、別途、西東京市教育委員会(学校建替協議会)において検討



2. 主題部

1. エリアの将来像

- 本区域では、次のように将来像を定め、前述した総合計画や関連計画との整合を図りながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちを目指す。
- 本区域にふさわしいまちづくりのコンセプトを検討する。

【参考】公共施設マネジメント通信第4号

田無第三中学校で実施した出前授業にて、子どもたちが考えた新しい中学校のコンセプト

皆さんが考えた**主な意見**

< 学校のコンセプト >	< こんな学校にしたい >
▶ 地域の人たちが使える学校	▶ 地域の人にも寄り添う学校
▶ Sutairissy	▶ 芸術が身近にある
▶ 未来の子どもたちへ	▶ 屋内プールを設置したい
▶ 個性と自由ではみ出していく地域に優しい学校	▶ 校舎内を明るい色にしたい
▶ 生徒の主体性を伸ばす学校	▶ 体育館を大きくする
▶ みんなで楽しく自由に快適に過ごせる学校	▶ 校庭を芝生にしたい
▶ 近代的かつバリアフリー	▶ 教室を広くしてほしい
▶ できることの幅が広い学校！！	▶ グラウンドの水はけを良くしてほしい
▶ 地域の人と交流できるような安全で便利な場所	▶ 自習室がほしい
▶ 外見だけでなく、生徒らの雰囲気も更に良くなる学校	▶ 床暖房を設置してほしい
▶ 近代的な学校	▶ 天井を高く
▶ おしゃれで利用したい学校	▶ トイレを広くしてほしい
▶ 地域との関わりが強く、生徒と先生の距離が近く、生徒全員が快適で楽しく過ごせる学校	▶ 体育館にエアコンを設置したい

中学校の建替えだけでなく、みどりやスポーツの視点など、まちづくり全体を考えて検討します



2. 基本的な考え方

学校を核としたまちづくりの基本的な考え方

行政サービス機能の展開

公共施設の再編（学校の複合化・多機能化）

学校施設の建替え・有効活用

3. 具体的な方針

田無第三中学校周辺エリア構想 検討懇談会で 委員の皆さまと ワークショップ等を通じて 検討していきます！



検討する具体的な内容

- 学校を核としたまちづくりの基本的な3つの考え方について課題と解決するための方針について決めていきたい

- 防災、学校施設の地域利用、地域コミュニティ形成・周辺環境の整備等についても話し合い分野横断的な視点によるまちづくりも進めていきたい

